

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 20-240

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・研究課題名： 急性期再灌流療法施行症例に対する MRI first 導入前後での発症から治療介入までの時間と機能予後の関連についての臨床研究
- ・目的：急性期再灌流療法施行症例に対してMRI firstでの治療が有効か否か、本研究で明らかにしたいと考える。
- ・研究期間：承認日～2021年12月31日
- ・研究対象：2019年1月1日～ 2020年12月31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

2019年1月1日から2020年12月31日の2年間に当院(脳神経内科・脳卒中内科)に入院した急性期再灌流療法(rt-PA 静注療法/機械的血栓回収療法)施行患者のMRI first 前後(2019年1月～12月および2020年1月～12月)での年齢、性別、虚血性脳卒中、冠動脈疾患の既往、脳梗塞危険因子(高血圧、糖尿病、脂質異常症、心不全)、脳梗塞の病型、発症前の抗血栓薬(抗凝固薬、抗血小板薬)の有無、脳主幹動脈閉塞血管、入院時のNational Institutes of Health Stroke Scale(NIHSS)、退院時 modified Rankin Scale(mRS) および時間(発症から来院/再灌流、来院から画像検査(rt-PA投与/穿刺/再灌流)についての臨床情報を電子カルテを用いて後方視的に調査する。

② 利用する者の範囲

：所属 脳神経内科・脳卒中内科 職種 医師 資格または役職 講師 氏名 長田 高志

③ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：所属 脳神経内科・脳卒中内科 職種 医師 資格または役職 講師 氏名 長田 高志